

野球伝来150年、日本野球発祥の地

2022年3月14日(月)、日本野球機構(NPB)と全日本野球協会(BFJ)より、「野球伝来150年記念事業」の実施が発表されました。

プロアマ記念試合「U-23 NPB 選抜対 大学・社会人選抜」や、日本野球聖地・名所「150選」などの企画が行われる予定で、NPBとBFJが主催し、12球団やアマチュア各団体に加え、全国野球振興会や野球殿堂博物館も協力団体となっています。

野球は、お雇い外国人教師として来日した米国人、ホーレス・ウィルソンによって、1872年(明治5年)に日本に伝えられました。

ウィルソンは1872年、第一大学区第一番中学(現・東京大学)で英語や数学を教えるかたわら、生徒に野球を教

え、一緒にプレーを楽しみました。これが「日本の野球の始まり」といわれており、2022年は、ウィルソンによる野球伝来から150年の節目の年にあたります。

ウィルソンが伝えた野球は、その他の学校へと伝わり、そこで野球を体験した人達を中心となって野球は日本全国へと広まっていきました。

その功績から2003年、ウィルソンは野球殿堂入りし、当時学校のあった場所(現・学士会館)に「日本野球発祥の地」のモニュメントが建立されています。この機会にぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

公益財団法人 野球殿堂博物館
学芸員 関口貴広



日本野球発祥の地記念碑(写真提供 学士会館)



野球伝来150年記念ロゴ